

平成25年度 第1回富里市教育委員会定例会議会議録

富里市教育委員会

- 1 期 日 平成25年4月23日(火)
開会 午前10時47分
閉会 正午
- 2 場 所 本庁舎3階第3会議室
- 3 出席委員 委 員 長 河 田 厚 子
委員長職務代理者 武 井 勝 彦
委 員 佐々木 浩 二
委 員 森 田 惠 子
教 育 長 國 本 與 一
- 4 出席職員 教 育 次 長 小 野 祐一郎
教 育 総 務 課 長 高 須 利 幸
学 校 教 育 課 長 滝 口 次 郎
学 校 給 食 中 心 所 長 大 木 正 吾
生 涯 学 習 課 長 榊 原 孝
図 書 館 長 根 本 優
- 5 事務局職員 教育総務課課長補佐 中 津 義 孝

平成25年5月28日

署 名 人

署 名 人

会議録作成人

1 委員長開会宣言

河田委員長 平成25年度第1回富里市教育委員会定例会議を開会する。

2 前回会議録の承認

平成24年度第14回定例会議会議録承認

(署名人：武井委員，佐々木委員)

3 教育長報告

- ・ 3月30日富里第一学童クラブの開所式に出席，児童7名でスタートした。
- ・ 4月8日，9日に行われた市内の小中学校の入学式に出席，無事に式が行われ新入生が学校生活を送っている。
- ・ 4月11日，学校教育研究会定期総会に先生方が参加，各研究部会に分かれてそれぞれの総会が無事に行われた。
- ・ 4月22日から24日まで学校経営等についてヒアリングを実施している。
- ・ 4月20日，洗心小学校PTA総会が終了した後，教育総務課長とともに訪問，①校舎の耐震化設計を実施すること②学校適正配置検討委員会を設置すること③複式学級による学級担任の負担を減らすため補助教諭を配置すること，の3点について議会で承認を得たことを報告した。
- ・ 人事異動により教育委員会も新体制となった。新しいスタッフで教育委員会を運営していくので，よろしく願います。

4 教育委員報告

委員 富里第一小学校の入学式に出席，校長先生の式辞に感動した。新入生22名は不安で緊張した面持ちのところ，校長先生は子供たちに眼をつぶらせ，缶の中に入っている花の種の音をカシャカシャと聞かせた。その中には「あいさつの種，得意の種，親切の種」の3つの種が入っていること，それぞれの種の話を紹介し，これから綺麗な花を咲かせてくださいと話したところ，子供たちがその種を本当にもらったように手を握り締め，真剣な表情で聞いている姿がとても感動的であり，このような先生方がそろっている学校だからこそ健やかに成長していけるのだなという思いであった。

河田委員長 向台幼稚園の入園式と富里中学校の入学式に出席した。

幼稚園の入園式は式の最中に先生のそばに歩み寄ってしまうこともあったが，小さな身体で先生の話聞き，お母さんの隣でしっかり座っている姿を見て，これから新しい生活を頑張っていってほしいなとほほえ

ましく見ていた。中学校の入学式は、市内で一番大きい中学校ということもあり、入場行進では大変人数が多いなど感じるとともに、これから新しい生活に向けて自信に満ち溢れた表情を見せてくれた姿が印象深く、在校生の歌が入学式を盛り上げ、中学生ともなるとこのように立派に成長していくのだなど、一人の大人として応援していきたいという思いであった。

5 議案

河田委員長 議案第1号から議案第4号までを一括で議題とする。提案者である國本教育長から提案理由の説明を求める。

國本教育長 議案第1号は、国に対し35人以下の学級の前進を求める請願である。議案第2号、第3号及び第4号については、富里スイカロードレース大会開催等に伴い富里中央公民館、富里社会体育館及び富里市立図書館の臨時休館日について、関係条例及び規則の規定に基づき議決を求めるものである。

よろしくご審議の上可決されるようお願いする。

(1) 議案第1号 国の責任による35人以下学級の前進を求める請願について (教育総務課)

教育総務課長 北総教職員組合から請願があり、前回の会議時に協議させていただいた内容である。

<質疑等>

委員 請願の趣旨については理解できる。しかしながら、請願するときは印旛郡市地方教育委員会連絡協議会さらには千葉県市町村教育委員会連絡協議会を経由して、国に請願していくのがこれまでのやり方であり、当市単独で行うことは賛成できない。

<採決>

河田委員長 本請願については、挙手にて採決を行うこととする。お諮りする。

議案第1号を採択することに賛成の方、挙手願う。

挙手なしと認める。よって議案第1号は、不採択とすることに決定した。

(2) 議案第2号 富里中央公民館の臨時休館日について (生涯学習課)

生涯学習課長 富里中央公民館の臨時休館日について、年間の事業計画に基づき、6月22日、23日はスイカロードレースの実施に伴うもので、

6月22日は前日の選手受付，23日はレース当日の更衣室に使用する。
10月30日，31日は文化祭の作品の搬入，展示の準備，11月1日，
2日は文化祭の開催，11月5日午前9時から正午までは文化祭の後片
付けに使用する。12月28日と翌年1月4日は館内の整理，1月12
日は成人式の開催に要するため使用する。

以上，年間10日間の休館日について提案させていただく。

<質疑等>

質疑等なし

<採決>

議案第2号は，賛成全員により原案のとおり可決した。

(3) 議案第3号 富里社会体育館の臨時休館日について（生涯学習課）

生涯学習課長 富里社会体育館の臨時休館日については，6月22日，2
3日のスイカロードレースの実施に伴うもので22日は物品置場などの
準備に要するため，23日はレース当日の更衣室に使用する。

<質疑等>

質疑等なし

<採決>

議案第3号は，賛成全員により原案のとおり可決した。

(4) 議案第4号 富里市立図書館の臨時休館日について（図書館）

図書館長 富里市立図書館の臨時休館日については，6月23日のスイカ
ロードレースの実施に伴うもの。

<質疑等>

質疑等なし

<採決>

議案第4号は，賛成全員により原案のとおり可決した。

6 報告事項

河田委員長 報告事項について，各課等から報告願う。

(1) 平成24年度学校評議員意見聴取報告書について（学校教育課）

学校教育課長 学校評議員は各学校3名を委嘱（根木名小学校は4名），
校長先生が学校評議員に意見を求めた内容，いただいた意見を基に取り
組んだ結果の報告書である。各学校全体を通して，年々意見をいただく
内容が具体的になっており，教育課程そのものについてのアドバイスも

あり、校長先生においては学校運営上参考になる内容をたくさんいただいていると考えている。要因としては、学校評価の結果に基づき意見をいただくことが定着しているためであると考えている。

河田委員長 ここ数年、学校評議員から具体的で細かいところを見た意見をいただきありがたいと考えている。新しい年度になり、また違った眼で見ようと考えていらっしゃるのだなと感じた。

(2) 平成24年度特色ある学校づくり推進事業の各幼稚園、小中学校の取組結果について（学校教育課）

学校教育課長 平成24年度特色ある学校づくり推進事業は、各幼稚園3万円、各小中学校25万円の予算で計画に基づき各学校の特色ある学校づくりを推進している。幼稚園、小中学校全体の支出のうち報償費が1番大きな額を占め、外部人材を活用して、教育活動にご協力いただく方に報償として支出されている。2番目に大きな支出額としては図書館の書架、耕運機、芝刈り機、刈り払い機等の備品関係の支出であり、一般備品費で購入すべきものであると指導をしているところだが環境の整備、間接的には読書活動の推進に役立つものとして活用していただいている。課題としては、年度が改まって校長先生が変わり、特色ある学校づくり推進事業に少し変更をしたいという場合、学校教育課と協議がなく事業を進められるということが時々あり、決算の際に少し問題になることがあったので、今年度の予算説明会において十分に説明をしたところである。昨年度は執行残額が出てしまった学校があった。その残額の内容は報償費を受けとっていただけなかったことで生じたものであり、今年度はよく打ち合わせをして事業を進めていただきたいと話をした。

河田委員長 特色ある学校づくりのため、各学校が独自に計画して柔軟に使える予算というのは大変よいことであり、この事業が続いてよかったと思っている。サマースクール等へのボランティア報償費として使うなど、外部から指導する人を呼ぶことは刺激になるのでよい効果が現れると思った。

委員 1年という短い期間ではあるがこれだけの趣向を凝らした計画を実施することについて今後も続けていただきたい。

(3) 映画会について（図書館）

図書館長 映画会を毎月第1・第3日曜日、第1・第3水曜日に実施しているところだが、6月から日曜日実施分を休止とし、夏季・冬季休暇、春休みに集中して映画会を実施し、より多くの子供たちに見てい

ただきたいという計画を立て実施してまいりたい。

(4) 月例報告（各課等）

教育総務課

- ・主な報告事項として4月10日に学校配当予算説明会を実施した。
- ・来月の予定として、5月27日に千葉県市町村教育委員会連絡協議会の総会が浦安市で行われる。5月28日は本定例会の第2回を開催する。

学校教育課

- ・主な報告事項として4月4日に第1回目の富里市校長会議を実施した。その会議内容で平成24年度学校給食費の全体徴収率は、97.97パーセントであり、平成23年度の97.8パーセントを上回ったが、目標の98パーセントに対し0.03パーセントを下回ったため、本年度は是非目標を達成したい。
- ・各学校において、昨年度の徴収率を0.03パーセント上回ることで今年度は、全体で98パーセントを達成できるよう校長先生方をお願いした。1番人数の多い富里中で3人の生徒1か月分を徴収できれば0.03パーセントを上回るため、それぞれ徴収率アップの取り組みをお願いした。
- ・4月24日に小学校6年生，中学校3年生に対し，全国学力学習状況調査が行われる。今後の予定として，5月14日は幼稚園長会議と教頭会議を開催，春の運動会として5月25日に富里南小学校，6月1日に富里第一小学校と七栄小学校が行われる。

学校給食センター

- ・4月10日から1学期の学校給食を開始した。4月15日に印旛保健所の巡回指導が行われた。5月17日に千葉県学校給食センター研究会総会が行われる予定である。

生涯学習課

- ・各種団体の総会，委嘱状の交付が続いており，4月13日は青少年相談員の委嘱状交付式，4月21日は子ども会育成会連絡協議会総会が行われた。
- ・4月25日は家庭教育学級等の総会を予定する。スポーツ振興においては，4月14日に市スポーツ推進員の委嘱式と総会，4月19日にスポーツ少年団総会，4月21日は体育協会総会が実施された。

- ・ 5月は、スイカロードレース大会実行委員会の開催が予定される。
- ・ スイカロードレースの進捗状況は、3月1日から5日までの申し込み期間中、インターネットや専用用紙の申し込みで26,424人の申し込みがあった。
- ・ 4月4日に抽選し、棄権する人数を考慮して約15,000人を当選とした。4月11日の入金期限を過ぎたところ約12,800人の入金状況で想像以上に減ったと感じている。事務局、実行委員会大会会長と協議を重ね、再抽選を4月18日に行い、約600人を追加当選とした。そのほか協賛企業・個人に対し枠を付与しており、約200～300人の参加を見込み、4月24日に再抽選の入金の結果が出てくる。今後の最終人数の確定について注視しているところである。

図書館

- ・ 4月の映画会の総参加者数は31人であった。

7 その他

(1) 洗心小学校の在り方に関する協議について

國本教育長 教育委員会が要望した事項が3月議会で承認、予算化された。以前からお示した資料を基に教育委員会としての見解を統一したい。児童数などのデータは平成25年4月16日現在のもので平成25年度児童数が46人、複式学級数が2であり、平成28年度には複式学級数が3となりすべてが複式学級になる見込みである。新入生について平成25年度は6人、平成27年度は1人の見込みである。補助教員の数は平成25年度1人を配置、平成26年度は県費負担職員で対応できるものとし補助教員は0となる見込みであるが、平成28年度はすべてが複式学級であるため2人の補助教員が必要になる状況もあると見込んでいる。校舎の耐震化については平成25年度に実施設計、平成26年度の夏休みに工事を行うことになる。学校適正配置検討委員会は委員10名をもって年5回の会議で諮問内容を協議し、答申をいただく。特認校については平成25年度も継続をしている。隣の芝山町の状況は平成24年度に統合を発表、平成25年度はプレハブ新築設計が予算化され、平成26年度に工事を行い、平成27年4月に芝山小にすべて統合される見込みで進んでいる。

河田委員長 学校適正配置検討委員会の進捗状況について説明をお願いする。

教育総務課長 各団体から委員推薦をお願いしている状況で公募委員は

6月に予定している会議に間に合わないため各中学校区から推薦する人をもって市民代表とし、北中学校区から1人、富里中学校区、南中学校区から各2人の合計5人を推薦していただく。そのほか各小中学校の校長先生から2人、有識者として大学教授、就学区域審議会、元教育委員からそれぞれ各1人の委嘱を検討している状況である。

委員 委員の選任にあたり、地域の内容、事情がわかる方、洗心小、浩養小など南部の地域の事情をわかっている方、適正に意見を出していただける方になっていただきたい。

教育総務課長 ご指摘のとおり委員の人選にあたって考慮し委嘱をしていく。

河田委員長 客観性を持った方になっていただきたい。最終的に委員はいつ決まるのか。

教育総務課長 5月中に委員を決定し、第1回目の会議を6月に開き、偶数月の開催で全5回を予定し、2月に答申をいただく予定とする。

河田委員長 教育委員会の6つの見解（案）を確認、協議をしていく。

(1) 複式学級 「教育を受ける権利と学習の機会が平等とはいえないので望ましくない。複式学級が解消しない場合は統合化を進めていく。」について

委員 学習の機会が平等とはいえないこと以上に、一定程度の人数がいないと十代における協調性が高められないと思う。1クラスの人数を確保していくのが本来の教育であると思うので統合化を目指してほしいと思っている。

委員 学習の機会が平等になるようにということや子供たちがコミュニケーションをとりながら互いに成長していくには、ある程度の人数の集団が必要であり、異なる学年だけでなく、同学年で切磋琢磨して成長していけるような学校を目指すとすると、やはり統合化を進めていくしかないと考える。

委員 子供たちのことを考えればこの見解でよいと考える。委員会内だけでは解決できない問題であるが、（十倉の）二区には洗心小学校がなくなると市の施設は無くなってしまおうという声も聞かれた。その対応は、市長部局に相談して対応を考えていただければ、この見解でよいと考える。

河田委員長 洗心小学校の在り方について話が出たのは、委員になりたての平成17年からである。そのときから地域の方々の気持ちを考慮して委員の中でも何回も協議して話し合ってきたが、やはり子供たちの将来を考えると色々なチャンスを与えてあげたいというのが統合化を進める1番の理由である。複式学級に対する見解について、案の

内容でよろしいか。（委員全員承認）

（２）複式対応 「統合まで補助教員を配置する。」について

河田委員長 年度ごとに必要な配置を行っていくという内容になっていることについて、案の内容でよろしいか。（委員全員承認）

（３）特認校の PR 「教育委員会事務室，相談室，ホームページ，就学時健康診断等で行う。学校適正配置検討委員会答申後の結論により時期が決定され，統合する場合は統合年度まで PR を継続する。」について

河田委員長 市内にある学校のうち洗心小学校が特認校であるという PR は，なされていると思う。案の内容でよろしいか。（委員全員承認）

（４）特認校のスクールバス 「運行しない。学校選択ができるプラス面と通学が負担となるマイナス面で相殺される。」について

河田委員長 案の内容でよろしいか。（委員全員承認）

（５）耐震化工事 「児童の安全面への考慮と統合した場合の跡利用を考慮して行う。大規模改修は今後の利用方針，内容が決定してから行う。」について

河田委員長 案の内容でよろしいか。（委員全員承認）

（６）統合案等 「学校適正配置検討委員会の答申を受けて耐震化工事終了後に決定する。」について

河田委員長 案の内容でよろしいか。（委員全員承認）

9 委員長閉会宣言

河田委員長 以上で，平成 25 年度第 1 回富里市教育委員会定例会議を終了する。